

**学校図書が音声ペン「スピークン」を使った新教材を開発
—商品化に図書印刷が全面協力—**

図書印刷株式会社（本社：東京都北区 代表取締役社長 沖津仁彦 以下、図書印刷）の子会社である学校図書株式会社（本社：東京都北区 代表取締役社長 奈良 威 以下、学校図書）では、株式会社アポロジャパン（本社：神戸市中央区、代表取締役 顧 澤蒼 以下、アポロジャパン）のタッチ型音声再生機「スピークン」を使った、失語症等の言語に障害をお持ちの方を対象にした教材『話したい、伝えたい！ —発話支援のためのコミュニケーション・ツール—』を開発、7 月末より販売を開始します。

学校図書の音声教材の商品化にあたっては、図書印刷が、最適な印刷条件の検証、印刷用紙、特殊製本、インキなど製造面での開発を担当するとともに、作業手順や検査体制の構築など全面的な協力を行いました。

<背景>

- ・ペン型の音声再生機「スピークン」を使った商品については、すでに学校図書より中学校英語教科書 TOTAL ENGLISH の準拠教材として発行・発売されています。また、学習塾用教材、学習参考書への応用も企画しています。

<『話したい、伝えたい！ —発話支援のためのコミュニケーション・ツール—』の特長>

- ・『話したい、伝えたい！ —発話支援のためのコミュニケーション・ツール—』では、アポロジャパンが開発したタッチ型音声再生機「スピークン」と「スクリーンコード」（直径 0.04 ミリメートルの点状コード）を使用しています。
- ・印刷物に埋め込んだ目に見えないスクリーンコードを「スピークン」のペン先が読み取り、付属のマイクロ SD カードにあらかじめ入力されているデータを呼び出し、瞬時に音声を発する仕組みです。
- ・失語症等による言語に障害をお持ちの方が、教材の中の絵・写真・文字をタッチして事物を指し示したり、要望や依頼の文をつくって伝えたりできるように構成されています。家族や支援者の方とのコミュニケーションのサポートに、また医療機関における治療やリハビリ訓練の復習・独習に使用できることを主なねらいとしています。
- ・付属の「あいうえおカード」にもスクリーンコード印刷を施してあるので、これもスピークンを用いて、かな文字の音声を聞いたり発音練習をしたりすることができます。

<図書印刷の技術協力>

- ・図書印刷では、本製品の商品化にあたり、同社が持つ印刷技術により、最適な印刷条件の検証テストと信頼性の確立の面で協力しています。
- ・特に、本商品の対象となる方々の使用を考慮し、全ページに PP 貼りをして水や汚れに対する耐性を高めています。また、スピークンが正常に機能するために、リング綴じ製本を採

用し、開きやすくタッチしやすい工夫をしています。

- ・製品が正しく動作する条件について、生産面、素材（用紙）、インキ、傷・汚れ等の影響などについてテストを繰り返しました。その結果、100%動作に問題がない印刷条件を確立しています。
- ・また、作業手順や検査体制の構築を行ったことで量産できる体制を整えています。

<今後の展開>

- ・このシステムを使って、他の出版メディアへの展開や、目の不自由な方への応用、SP 商品への派生など、さまざまな応用展開が考えられます。また、一般企業の販促部門等に対し売り込んでいくことも検討しています。

<価格>

『話したい、伝えたい！— 発話支援のためのコミュニケーション・ツール —』基本セット

定価（予価）：本体 27,000 円（+税）

※セット販売を基本（書籍、ペン、あいうえおカードの分売については検討中）

【本件に関する問合せ先】

図書印刷株式会社 CSR 推進部 広報グループ（TEL 03-5843-9857）

学校図書株式会社 教育産業部（TEL 03-5843-9433）

株式会社アポロジャパン（TEL 078-265-1771）

以 上